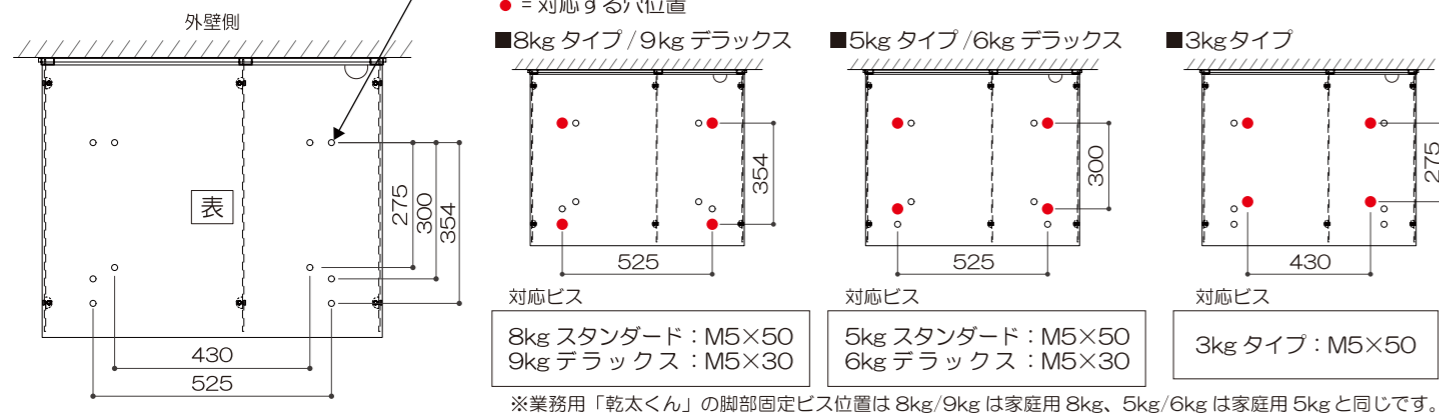


# TSセット乾太くん用 施工説明書

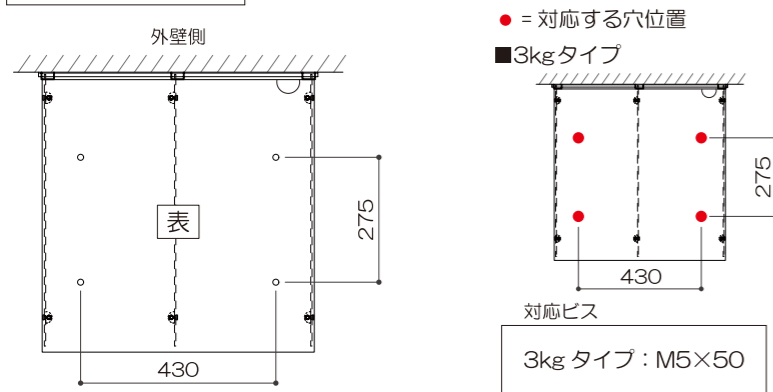
※TSセット(乾太くん用)を施工またはご使用の際は、この施工説明書と合わせて「施工説明書」「取扱説明書」もよくお読みいただき、正しく施工・ご使用ください。

## 対応穴位置

**W750\*D600** 棚板には計10カ所の貫通穴が空いています。下記から各乾太くんシリーズに対応する穴位置をご確認ください。



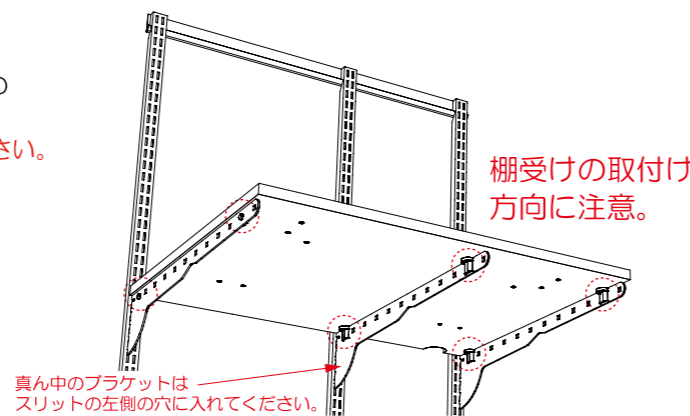
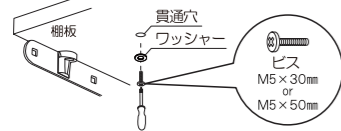
**W600\*D600** W600は乾太くん3kgのみの対応です。



## 棚板の組み立て・取り付け

中面の「FKレール・FKスリットの取り付け」からご確認ください。

- 別紙「施工説明書」の3 TS/TPセットの組み立て・取付けを参考に棚板の組み立て、取り付けを行ってください。ブラケットを棚板に取り付ける際は右図を参考に中央ブラケットの棚受け方向に注意して、取り付けてください。  
その際電動ドライバーは使わず手回しドライバーを使用してください。ブラケットは必ずスリット穴に入れて下に押し込んでください。
- 本面の**対応穴位置**を確認し、使用しない穴を上下から同梱の穴隠しでふさいでください。(W600の場合は不要です)
- 棚板に乾太くんを載せ、乾太くんの脚と穴位置を合わせて、ワッシャーと取付けビスで乾太くんを固定してください。

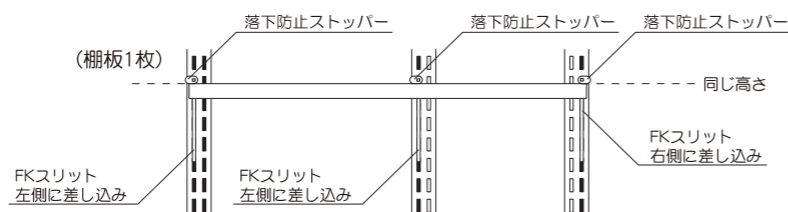


### 注意

TSセット(乾太くん用)は乾太くんにガス管を取付けるので棚の移動ができません。必ず棚位置が間違いないかご確認ください。

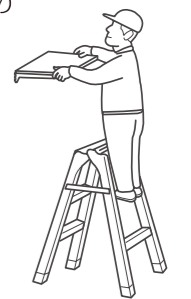
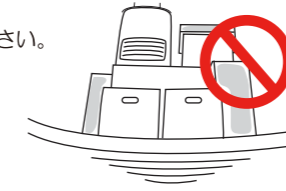
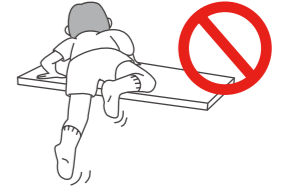
### 注意

TSセット(乾太くん用)の真ん中のブラケットは、スリット左側の穴を使用します。  
ブラケットは必ずスリット穴にしっかりとまっすぐにしっかりはまっているか確認してください。  
落下防止ストッパーは必ず取り付けてください。



## 警告

- 絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。破損や思わぬケガの要因となります。
  - 絶対に本製品にのぼったり、ぶら下がったりしないでください。破損や落下、転倒によりケガをするおそれがあり非常に危険です。
  - 絶対に耐荷重以上の荷物は載せないでください。破損や落下の原因となります。また乾太くん以外は載せないでください。
  - 絶対に本製品に寄りかかったり、手をついたりしないでください。破損や落下によりケガをするおそれがあり非常に危険です。
  - 高所の作業を行うときは、必ず脚立や椅子などを使用し、絶対に本製品に足をかけたりしないでください。破損や落下、転倒によりケガをするおそれがあり非常に危険です。
- 乾太くん本体の設置は必ずガス会社様へご依頼ください。
- 乾太くん3kgタイプ(RDT-31S)は防火離隔距離90mm(45×2)のため、取付推奨幅は640mm~になります。



耐荷重(1セットあたり)

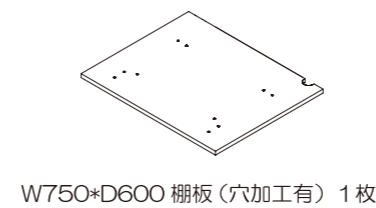
TS(木棚)セット 乾太くん用	60kg
-----------------	------

※耐荷重の数値は目安であり保証値ではありません。  
※耐荷重の範囲内で壁とスリットの間に隙間が生じる場合がありますが、製品上問題はありませぬ。

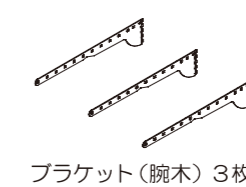
## 棚板組立用部品

TSセット(乾太くん用)の組立に必要な部品はそれぞれ以下の通りです。不足がないかご確認ください。

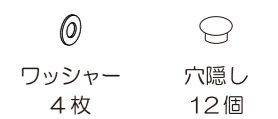
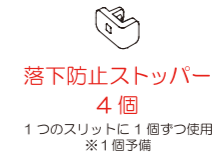
### W750\*D600



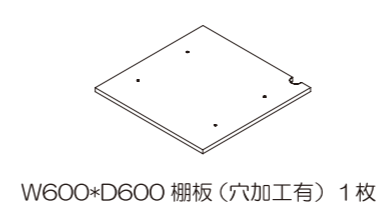
乾太くん専用棚板のみ下穴加工があります。貫通穴のみ見える面が「表」、貫通穴と鬼目ナットが見える面が「裏」とします。



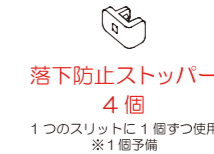
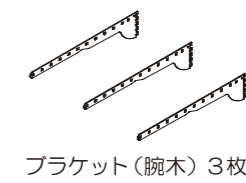
- 乾太くん取付け用ビス (M5×50)※ 4本
  - 乾太くん取付け用ビス (M5×30)※ 4本
- ※設置する乾太くんのタイプによって使用するビスが異なります。(M5×50ビス) 3キロタイプ/5kgスタンダード/8kgスタンダード (M5×30ビス) 6kgデラックス/9kgデラックス



### W600\*D600



乾太くん専用棚板のみ下穴加工があります。貫通穴のみ見える面が「表」、貫通穴と鬼目ナットが見える面が「裏」とします。



## 注意

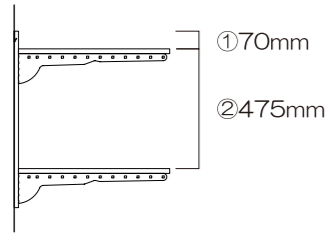
弊社付属のビスでねじ切り可能なので、乾太くんに元々付属している取付け用ビスは使用しません。

## FK レールの取り付け

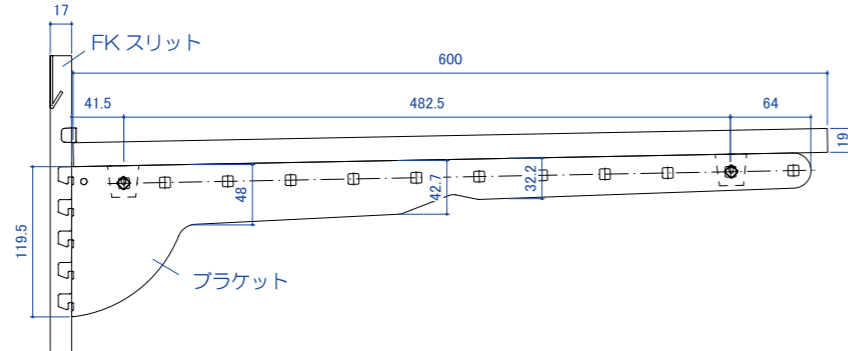
下記の「棚板可動距離」と「取付例」を参考に、FK レールの取付高さを決定してください。  
別紙「施工説明書」の **1 FK レールの取り付け** を参考に取付けてください。  
ブラケットの根本は高さがあるので、洗濯機の蓋などが干渉しないようにご注意ください。

### 棚板可動距離

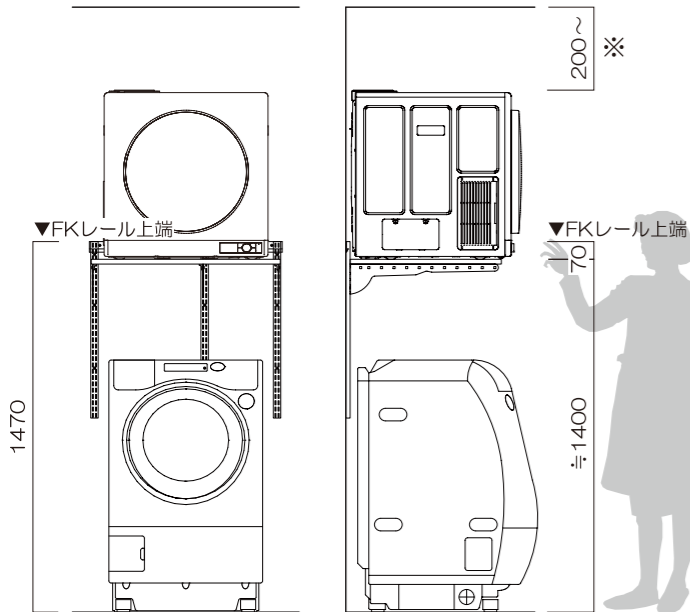
- ①FK レールから棚板最上段までの距離：70mm
- ②棚板最上段～最下段までの距離：475mm  
25mm 毎に棚板を可動できます



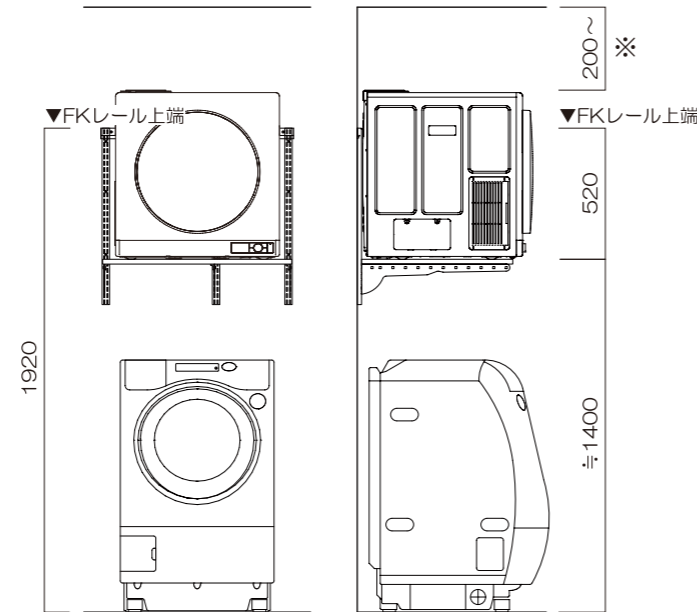
### ブラケット高さ



### 取付例 A



### 取付例 B



### 注意

※排湿筒の逃がし方により、乾太くん上部から天井までの必要寸法が異なりますので  
詳しい寸法についてはガス会社様にお問い合わせください。

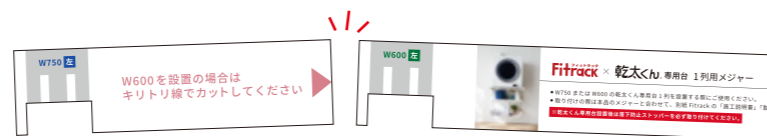
## 1列の場合 FK スリットの取り付け

別紙「施工説明書」の **2 FK スリットの取り付け** を参考に取付けてください。  
スリットの位置は、1列の場合は付属の1列用のメジャー（紙定規）をご使用し、確認してください。

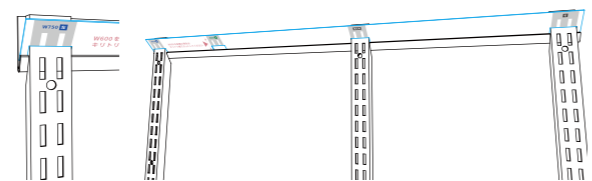
### ■ 乾太くん専用台 1列用メジャー（紙定規）



1. W600 を取り付ける場合は切り取り線で1列用メジャー（紙定規）をカットしてください。  
※W750 の場合は不要です。



2. 壁面に取付けたFK レールにFK スリットを3本引っ掛けます。
3. 乾太くん専用台1列用メジャーとFK レールの端を揃え、メジャーの凹みにFK スリットを合わせ、位置を決めます。
4. FK スリットに水平器をあて、垂直がとれているかを確認し、FK スリットをビスで壁面に取付けてください。



## 2列の場合 FK スリットの取り付け

乾太くん専用台  
取付動画

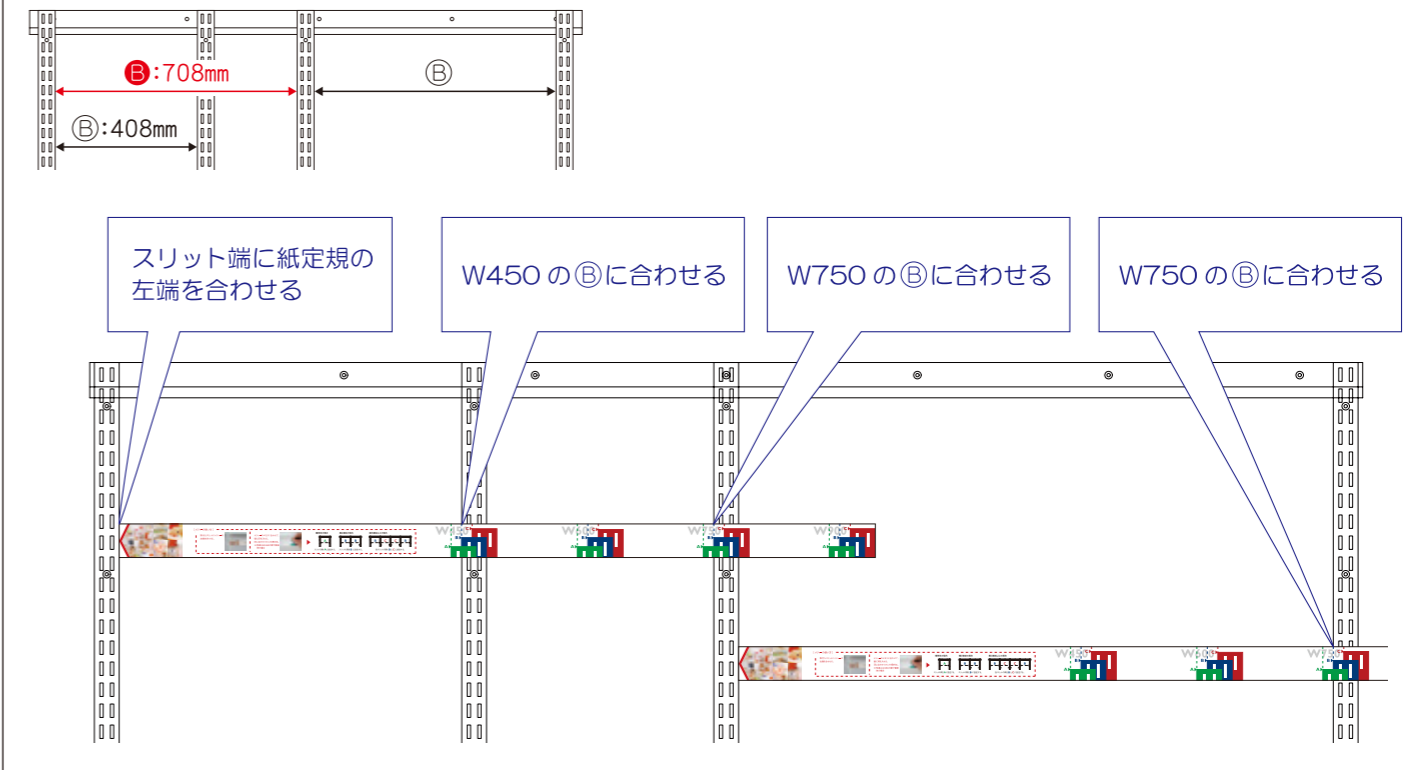


別紙「施工説明書」の **2 FK スリットの取り付け** を参考に取付けてください。  
スリットの位置は下図を確認してください。赤文字部分が乾太くん用の取付け位置です。またレール・スリットには紙定規が付属しております。下部にある図の(A)(B)(C)と連動していますので紙定規をあてて、取り付け位置を確認してください。

### ■ 紙定規



紙定規使用例 2列 W1500 (W750+W750) / 左側に乾太くん専用台を設置の場合



### (FKスリットの取り付け位置)

棚板/パイプの幅によって異なります。  
以下寸法公式で寸法を算出して取付けてください。

- Ⓐ = 設置する棚板/パイプ 幅 - 55mm
- Ⓑ = 設置する棚板/パイプ 幅 - 42mm
- Ⓒ = 設置する棚板/パイプ 幅 - 29mm

### <例>W450の棚板の場合

Ⓐ: 395mm Ⓑ: 408mm Ⓒ: 421mm

### <例>W600の棚板の場合

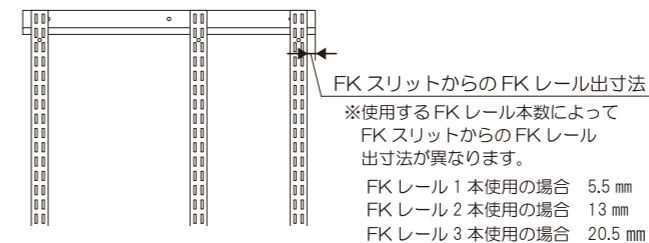
Ⓐ: 545mm Ⓑ: 558mm Ⓒ: 571mm

### <例>W750の棚板の場合

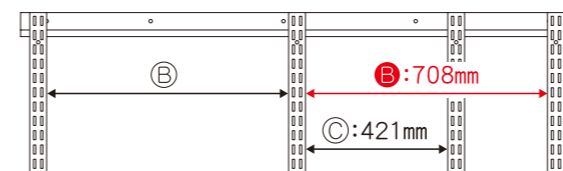
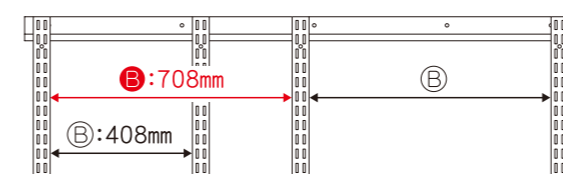
Ⓐ: 695mm Ⓑ: 708mm Ⓒ: 721mm

### <例>W900の棚板の場合

Ⓐ: 845mm Ⓑ: 858mm Ⓒ: 871mm



### (棚板2枚連結)



### (棚板3枚以上連結)

